

第4号議案

平成30年度 事業計画書

基本事業

事業名	実施予定内容	目 的	期待される効果
ふれあい・いきいきサロン	台小学区 11回 西小学区 5回 東小学区 3回	ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などを対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、閉じこもりを防止するとともに健康体操教室などを通じて、生きがいつくりや健康の増進を図る。	参加者同士だけではなく、スタッフとの出会いから、サロン開催中だけではない、声掛けなどの日常的な支え合いに発展し、住民同士のつながりの恒常化が期待できる。 地域全体を見据えた地域福祉事業を展開することにより、あらゆる場面での互助、共助の意識を高め、地域住民がSOS発信しやすい環境を創ることができる。
ふれあい・はつらつサロン	スポーツ交流会 2回 茶話会 4回 地域福祉支援事業 1	在宅の心身障害者（児）を対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、閉じこもりを防止するとともに、生きがいつくりや社会参加の促進を図る。 障がいも含めて、参加者同士が個性を認め合う関係を体験する場を提供する。	障害の有無に関わらず、自己のスタイルに合わせて参加者同士が主体的に関係性を構築することで、ノーマライゼーションの基本である「共生」の精神を実感することに寄与できる。 参加者を制限せず、バリアフリースタイルにすることで、個性に合わせた参加スタイルを構築し、参加者がお互いを認め合い、自他ともに尊重し合う関係を構築できる。
子育てサロン	毎月3回 ・育児相談 ・仲間づくり ・家庭教育講座 ・子どもフェスタ	子育て家庭の保護者と未就学児を対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、育児に関する不安や悩み、子育てに対する孤立感の解消を図る。	参加者をお客様にせず、当事者の主体性を育てることにより、自主的、自律的な考えを引き出し、親自身が親として育っていくことが期待できる。
高齢者地域支え合い	2層協議体設置 研修会 3回	地域包括ケアシステム構築のための第2層協議体を設置し、地域問題を課題として自助、互助、共助、公助に分類整理し、解決への道筋を構築する。	今後予想される超高齢化社会で、弱者と呼ばれる人たちを排除するのではなく、人権を尊重しながらお互いを認め合い、共生する道を考えることにより、ハード・ソフト両面における包括的なまちづくりが期待できる。
広報・啓発	発行回数 4回 発行部数4000部 ボランティア啓発 ・ベルマーク運動	住民に対して地区社協（活動）の周知や情報提供を行うことで、新たな担い手づくりや地域の支え合い・助け合い意識の熟成を図る。 ベルマーク教育支援財団の被災地学校支援協力として、地域に呼びかけベルマーク収集と整理を行うことにより、ボランティア活動の啓発事業とする。	地区社協事業の方向性を広く周知できるとともに、住民参加のまちづくりへの意識を啓発することができ、共助の精神の熟成が期待できる。 誰でもできる参加しやすいボランティア活動を提供することにより、無理のない継続性を持ったボランティア活動の体験の場となり、社会参加意識の啓発と、自尊感情の向上が期待できる。

地域交流	10月28日 地域交流フェスタ 募金活動 地域食堂 9月開始毎月1回	地域住民が集えるようなイベントを開催し、住民同士の交流の機会を提供することにより、地域団体活動への理解と協力を促す。 独居や片親家庭の増加に伴い、食事をひとりで摂る高齢者や子どもが増える中、偏食や孤食による心身の疾患予防と、地域での異年齢交流の場を提供する。	イベント的な活動を通して、関係団体の連携を深めることができ、地区社協の存在周知へも貢献できる。 大勢で食事を摂ることで、コミュニケーションの場となり、社会性や協調性を育むだけでなく、栄養の偏りや生活習慣病の予防も期待できる。
連携・協働体制づくり	地域防災会議 6回 小域福祉NW会議 3回	地域全体で災害発生時の速やかな避難体制や支援体制を共有するため、地域防災会議を開催する。 小域福祉ネットワークと地区社協間の連絡調整や情報交換、役割や事業のすみ分けなどを行い、連携・協働体制の確立を図る。	町会単位の一時的避難場所や避難所運営の在り方を共有することで、災害時の混乱を避けることができ、安否確認方法や避難誘導、避難所開設時の運営方法を学ぶことができる。 小域福祉ネットワークの組織体制強化や事務などの支援を行うことにより、各団体のスムーズな運営や、事業目的の共有化が期待できる。
地区行動計画推進	推進会議 3回	昨年度発足した「地域行動計画策定委員会」を継続し、計画の推進体制の強化と、各事業の成果等を検証し、事業発展に貢献する。 高齢者支援事業の第2層協議体を兼ね地域福祉事業のより良い方向性を検討する。	地域課題を、より多くの団体や人が共有することにより、解決に向けた協働体制が強化され、各組織の強みを活かしながら、住みよいまちづくりに貢献できる。

先駆的・開拓的事業

事業名	実施予定	目的	期待される効果
日常生活支援	通年	公的制度や有料民間サービスで補えない住民の日常生活上の生活課題を解決するために、地域住民や関係者・団体などと連携・協働しながら、新たな支え合い・助け合い活動の推進を図る。	地域住民同士ならではの、課題解決に向けた取り組みを実施することにより、住民同士の互助、共助の意識を向上させ、誰もがいきいきと暮らすまちづくりへの参画意識の醸成が期待できる。
相談支援	相談事業 通年 ケース会議 12回 検討会議 4回 研修 5回	日常生活上の課題やニーズを掘り起こし、関係機関・団体などと連携・協働しながら、課題の深刻化の軽減を図る。	ニーズキャッチの仕組みを構築することで、現在実施中の事業のより良い発展と、今後の事業展開を掴むことが期待される。
人材育成	研修会 10回 現場研修 35回 ※明世保育園 ※子育てサロン	地域福祉活動の新たな担い手となる人材の発掘や育成に取り組み、地域福祉活動の向上・推進を図る。	活動の担い手が増えることで、ボランティアの普及・啓発につながり、住民交流の機会も広がることから、まちづくりへの住民参画意識を向上させることが期待できる。
ボランティア支援	9月7日 国分寺台西中学校 10月中旬予定 国分寺台中学校	災害時の支え合い・助け合いづくりに向けて、防災・減災意識の普及啓発や災害支援ボランティア活動のための環境づくりに取り組み、災害時の支援体制づくりの推進を図る。	避難所運営のノウハウを身に付けた住民が増えることで、大規模災害発生時の各地区避難所運営が円滑に行われるようになる事が期待される。

独自事業

事業名	実施予定	目 的	期待される効果
子ども防犯	6月11日 国分寺台西小学校 7月12日 国分寺台小学校 未定 国分寺台東小学校	<p>外部から講師を招き児童対象の実践的な講座を開催し、子ども自身の危機回避能力を高めるとともに、地域、家庭での防犯意識の向上を目指す。</p>	<p>子ども自身の危機回避能力を高めることにより、犯罪に巻き込まれる危険性が低くなることが期待できる。</p> <p>子どもたちの学習を、親を含む地域住民にも理解してもらうことで、登下校時の子ども見守り体制や、普段からの注意すべき視点の共有が図られる。</p> <p>子ども110番のステッカーを掲示している家庭に、子どもが不審者から逃げて駆け込んできた場合の対応を学ぶことができる。</p>